

# サステナビリティ経営

- ▼ サステナビリティの取り組み      サステナビリティの推進      ▼ サステナブルファイナンス
- ▼ ステークホルダーエンゲージメント

## サステナビリティの取り組み

### サステナビリティ経営

「持続可能な環境・社会がMUFGの持続的成長の大前提であるとの考えのもと、環境・社会課題の解決とMUFGの経営戦略を一体と捉えて価値創造に取り組む」ことが、MUFGのサステナビリティ経営です。

### MUFG Wayと行動規範の位置づけ

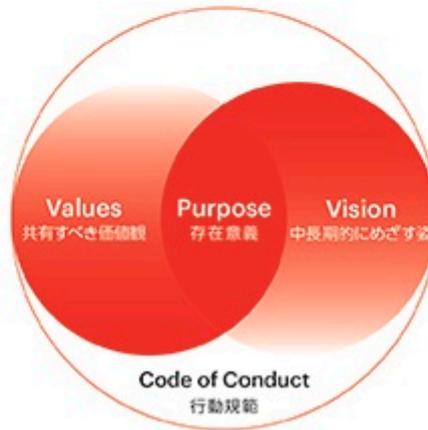
#### MUFG Way

MUFG Way は、MUFGグループが経営活動を遂行するにあたっての最も基本的な姿勢であり、全ての活動の指針とするものです。経営戦略や経営計画の策定など、経営の意思決定のよりどころとし、また、全役職員の精神的支柱として、諸活動の基本方針とします。パーパス（存在意義）である「世界が進むチカラになる。」には、「全てのステークホルダーが次へ、前へ進むためのチカラになりたい」という決意が込められています。これが起点となり、中期経営計画をはじめとする全ての戦略は確かなベクトルと強い推進力を得ることで、持続可能な社会の実現に一層貢献していくことができると考えています。

MUFG Way

# What's MUFG Way

MUFG Wayは、MUFGグループが経営活動を遂行するにあたっての最も基本的な姿勢であり、全ての活動の指針とするものです。経営戦略や経営計画の策定など、経営の意思決定のよりどころとし、また、全社員の精神的支柱として、諸活動の基本方針とします。



存在意義  
**Purpose**

## 世界が進むチカラになる。

変化の速い時代、全てのステークホルダーが課題を乗り越え、持続可能な未来、新たなステージへと進もうとしています。その思いを叶えるチカラになること、そのために全力を尽くすこと。これが未来に向けて変わらない MUFG の存在意義です。

共有すべき価値観  
**Values**

不変の価値観である「信頼・信用」に加え、「プロフェッショナリズムとチームワーク」、「成長と挑戦」を大切にします。

中長期的にめざす姿  
**Vision**

全てのステークホルダーが持続可能な未来、新たなステージへと進むチカラになることで、真に社会から必要とされる、「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」をめざします。



**お客さま・パートナーのチカラに**

デジタルの活用と金融ソリューションで、お客さまの豊かな生活、人生のチャレンジを応援します。



**地域・社会のチカラに**

安心・安全なプラットフォームとイノベーションで、強くしなやかな地域・社会を築く取り組みに参画します。



**未来の世代のチカラに**

社会課題と向き合い、人と地球が調和し共生する社会づくりに貢献します。

**世界が進むチカラになる。**

全てのステークホルダーの課題を起点とした戦略立案・遂行により、その解決に取り組みます。



**株主・投資家のチカラに**

当社のサステナビリティと企業価値を持続的に高め、その期待に応えます。



**MUFGの仲間のチカラに**

多様性が尊重され、共に輝き成長できる場と機会を用意していきます。

**行動規範**

行動規範は、MUFG Wayのもとに、グループの役職員が日々いかに考え、判断し、行動すべきかを示したもので、以下3つの章で構成されています。

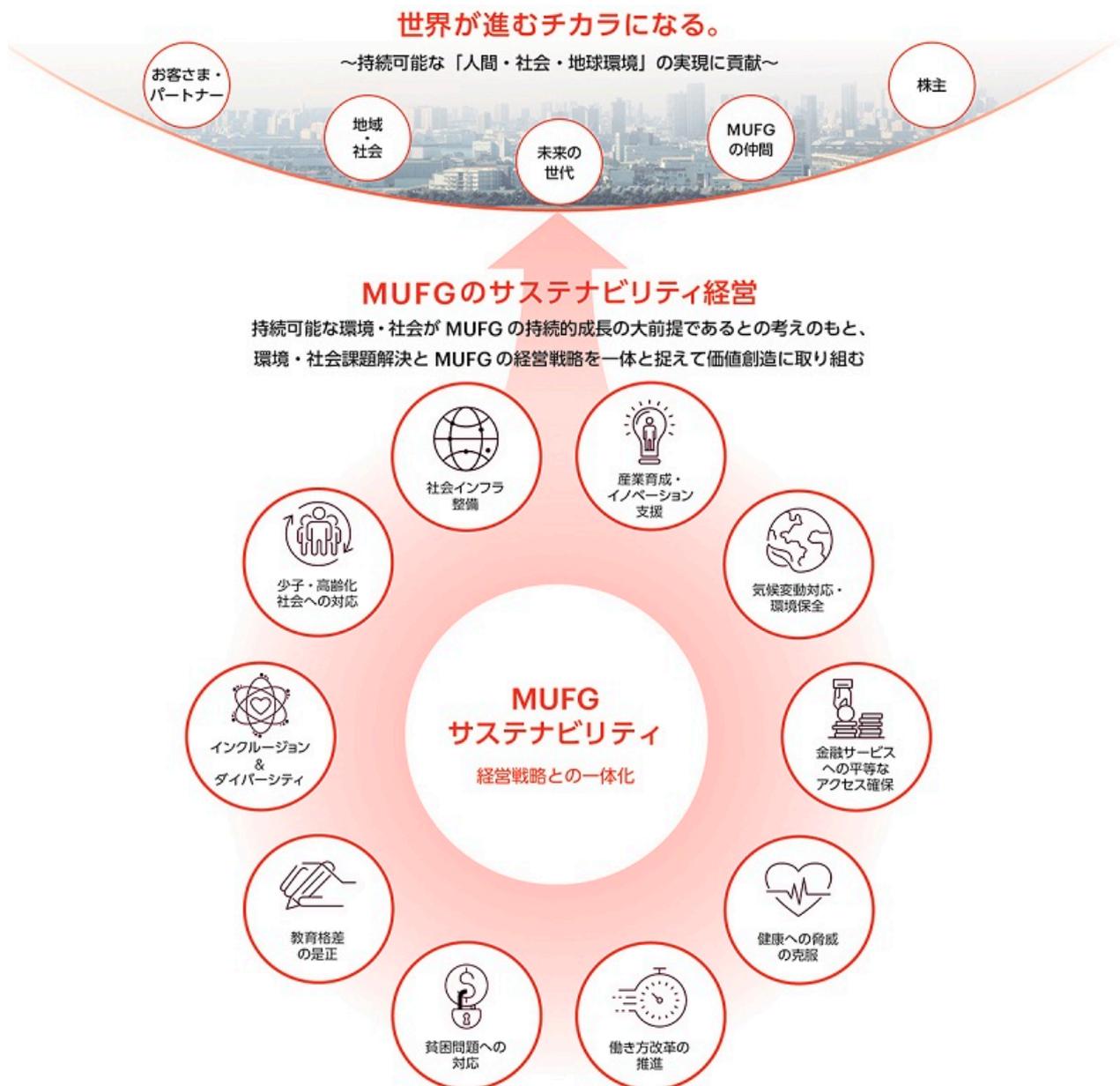
**行動規範**

- ・ 第1章 お客さまに対する姿勢
- ・ 第2章 社会に対する責任
- ・ 第3章 職場における心構え

## 中期経営計画（2021~2023年度）における位置づけ

MUFGは、パーパス「世界が進むチカラになる。」の実現に向けて、社会、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題に徹底的に向き合い、その解決に取り組みます。2021年度からスタートした中期経営計画では、3年後のめざす姿として「金融とデジタルの力で未来を切り拓くNo.1 ビジネスパートナー」を掲げ、「デジタル」「挑戦・スピード」に並ぶ変革テーマの一つに「サステナビリティ経営」を位置付けました。優先的に取り組む10の環境・社会課題を起点に事業戦略、リスク管理、社会貢献活動を推進し、環境・社会課題の解決に貢献していきます。

## サステナビリティ経営の全体像

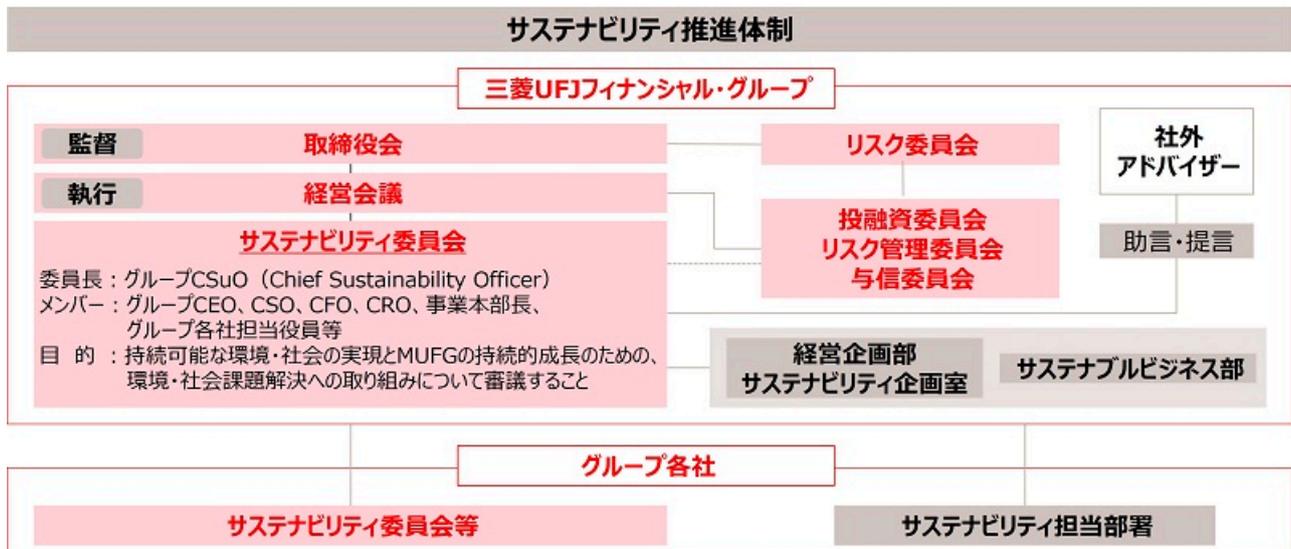


## サステナビリティの推進

### サステナビリティ推進体制

MUFG は、取締役会の監督のもと、「サステナビリティ委員会」を中心としたサステナビリティ推進体制を構築しています。本委員会は、取締役会のメンバーであり、サステナビリティの取り組み全般について責任を負うグループCSuO（Chief Sustainability Officer）が委員長を務めています。CSuOは、経営企画・戦略担当であるグループCSO（Chief Strategy Officer）を兼務しています。

MUFG は、サステナビリティ委員会を原則年1回以上開催し、サステナビリティへの取り組み状況の確認と審議を行い、その内容を経営会議および取締役会に付議・報告し、取締役会の監督を受けています。また、サステナビリティに関する課題やリスクについて、常時専門家からの意見聴取を可能にするため、2名の社外アドバイザーを招聘しており、取締役会メンバーと意見交換を行い、専門的立場からの助言・提言をMUFGのサステナビリティへの取り組みに活かしています。



### 各役職・部署の役割

#### グループCSuO（Chief Sustainability Officer）

サステナビリティ経営の推進に向けて、その取り組み全般について責任を負う。取締役会構成員のグループCSOが務めている。

#### 社外アドバイザー

外部知見をサステナビリティ経営に反映するため、マネジメントとの意見交換を定期的実施する。

#### 経営企画部サステナビリティ企画室

環境・社会課題解決と持続的成長の両立に向け、MUFGのサステナビリティ経営の基盤整備、戦略の企画立案・推進を担う。

#### サステナブルビジネス部

サステナブルビジネス推進の専門組織。MUFGのサステナビリティ領域における国内外の知見を集約し、環境・社会課題解決起点で各種情報やソリューション提供を通じて、お客さまの持続的成長を支援する。

# サステナブルファイナンス

## 目標と進捗

環境・社会課題の解決に向けて、2019年度から2030年度までの累計実行額をサステナブルファイナンス目標として設定しています。2021年度までの累計実行額は14.5兆円（うち、環境分野で5.4兆円）と順調に推移しています。



## サステナブルファイナンスの目標・実績

【単位：兆円】

分類		2019年度	2020年度	2021年度	累計	2030年度 目標
環境	再生可能エネルギー・環境関連事業向けプロジェクトファイナンスの組成等	0.5	0.6	0.6	5.4	18.0
	グリーンボンドの引受・販売	0.5	0.5	0.5		
	気候変動緩和・適応に資する事業へのコーポレート・ローン組成等	0.2	0.3	0.3		
	気候変動緩和・適応に資する事業へのファイナンシャルアドバイザー	0.8	0.3	0.3		
	その他	0.0	0.0	0.2		
社会	社会インフラ設備・地域活性化等に資する融資等	1.0	1.3	1.6	3.9	17.0
その他	さまざまな環境・社会課題の解決に貢献する分野	0.6	1.4	3.2	5.2	
合計		3.5	4.4	6.5	14.5	35.0

## サステナブルファイナンス目標の定義

「サステナブルファイナンス」は、関連する外部基準（グリーンローン原則、グリーンボンド原則およびソーシャルボンド原則など）を参考に、以下の事業に対するファイナンス（融資、ファンド出資、プロジェクトファイナンスおよびシンジケートローンの組成、株式・債券の引受、ファイナンシャルアドバイザー業務を含む）を対象範囲としています。

## 環境分野

- ・再生可能エネルギー、エネルギー効率改善およびグリーンビルディングなどの気候変動の適応・緩和に資する事業  
【例：再生可能エネルギー事業向け融資・プロジェクトファイナンスの組成、グリーンボンドの引受・販売など】

## 社会分野

- ・スタートアップ企業の育成、雇用の創出、および貧困の改善に資する事業
- ・地域活性化、地方創生に資する事業
- ・公共交通／水道設備／空港などの基本的なインフラ設備、および病院／学校／警察などの必要不可欠なサービス事業  
【例：新産業成長サポートプログラム、地方創生プロジェクトへの融資（MUFG地方創生ファンドなど）、公共インフラ向け融資・プロジェクトファイナンスの組成、ソーシャルボンドの引受・販売など】

## グリーン／ソーシャル／サステナビリティボンドの発行

MUFGは、グリーン／ソーシャル／サステナビリティ全てのボンド発行実績がある国内唯一の発行体であり、その規模は国内民間企業として最大です。ボンドの発行代わり金は、サステナビリティ関連のファイナンスに充当されます。

[グリーン／ソーシャル／サステナビリティボンド](#)

## ステークホルダーエンゲージメント

変化の速い時代、多くのステークホルダーが課題を乗り越え、持続可能な未来、新たなステージへと進もうとしています。その思いを叶えるチカラになること、そのために全力を尽くすこと。これが未来に向けて変わらないMUFGの存在意義です。

MUFGは、新たな気づきを得るとともに、相互理解を深めるため、ステークホルダーの皆さまとの建設的な対話を積極的に進めていきます。ステークホルダーの皆さまの関心事項や抱えている課題等を踏まえた、適切な対応を行うことで信頼関係・協働関係を築き、MUFGの持続的成長と中長期的な企業価値の向上に繋げていくように努めます。

主なステークホルダー	企業価値向上に向けた取り組み方針
<b>お客さま・パートナー</b> ・国内外のお客さま ・協働する外部事業者	環境変化を捉え、当社の強みを活かした事業活動により、お客さまの課題解決を金融面からサポートする  ・お客さまから寄せられたご意見 約18万件 <sup>(注)</sup> 、うちサービス改善事例 165件 ・お客さまの脱炭素化に向けたエンゲージメント 国内外約550社 ・各事業本部の取り組み (注) 銀行、信託、MUMSS、ニコス、アコム
<b>地域・社会</b> ・国内NPO/NGO ・地域コミュニティ ・地方公共団体	安定的な資金供給や堅牢な事務・システムの提供により、金融面から社会を支えるとともに、社会のデジタルシフトに貢献する  ・NPO/NGOとの対話 35件 ・少子・高齢化社会への対応 ・社会課題解決をめざす企業・イノベーションの支援 ・サイバーセキュリティに対する取り組み
<b>未来の世代</b> ・環境 ・若年層	環境・社会課題への対応をチャンスに変え、新しい時代において社会をリードする存在をめざす  ・カーボンニュートラル実現への取り組み ・サステナブルビジネスの推進 ・TCFD提言に基づく開示 ・各種イニシアティブへの参画
<b>MUFGの仲間</b> 社員17万人	対話を通じて会社の変革に共感する社員を増やし、挑戦とスピードのカルチャーを醸成する  ・キャリアチャレンジ制度・人材育成 ・新規ビジネス創出プログラムSpark X ・MUFG Way浸透セッション 国内外で3,000回超、50,000人以上が参加 ・経営陣によるタウンホールミーティング1,000回以上開催
<b>株主・投資家</b> 単元株主約81万人	透明性の高い開示と建設的な対話を実施し、そこで得た情報を経営へ還元し、経営戦略へ反映する  ・株主総会 来場者412人、視聴者1,121人 ・機関投資家・アナリスト向け説明会 10回 ・社外取締役と機関投資家の対話 ・機関投資家との個別面談 317件（海外投資家173件） ・個人投資家向けセミナー 3回、視聴者 約2,100人

## ステークホルダーへの情報発信と対話

### 脱炭素社会実現に向けたエンゲージメントセミナー

TCFD提言に基づく開示「戦略」をご覧ください。

### MUFG Wealth Management Presents ウェルスマネジメントフォーラム ～サステナブルな時代、今改めて考える資産運用・資産承継・事業承継～

MUFGウェルスマネジメントブランドの認知度向上および営業活動推進を目的に、読売新聞主催で銀行、信託、証券協賛にてお客さま向け大規模Webセミナーを開催しました。

亀澤社長と日本におけるSDGsの第一人者である蟹江憲史氏との特別対談をワシントンDCとのリモート中継にて実施し、「SDGsの現状におけるMUFGのサステナビリティ経営」「個社のサステナビリティ経営の具体例やビジネスチャンスとESG投資」など、幅広いテーマで意見交換しました。



### 社員向けタウンホール

2021年度は役員と社員のタウンホールミーティングを1,000回以上開催しました。2022年4月には、約3年ぶりに亀澤社長が米国へ出張し、タウンホールを実開催しました。約200人の米州社員が会場に集まり、オンラインでの参加者も合わせて380人が参加しました。

亀澤社長は、かつて共に働いた仲間がいる米国に「やっと戻ってこられました」と喜びを表し、MUFGユニオンバンク売却対応や、現地社会への貢献に尽力した全社員に対する感謝の思いを伝えました。また、MUFGユニオンバンク売却後も引き続き米州事業に対するコミットメントは不変であること、スピーディーかつ柔軟な組織への変革を進めていくことを強調しました。参加した社員からは、「打ち解けた雰囲気、同じチームの一員であると感じることができた」、「亀澤さんの言葉で、米州を重要な成長地域として強調してもらえたことは、非常に励みになった」などのコメントが寄せられました。

## カーボンニュートラル実現に向けた取り組みに関する開示強化、投資家向け説明会

MUFGは2021年度から、環境・社会課題解決への貢献に従来以上に強くコミットしています。2021年5月に「MUFGカーボンニュートラル宣言」を公表し、同年6月には、その具体的なマイルストーンやサステナブルビジネスをテーマにしたセミナーを開催しました。その後もグループ・グローバル一体となり、さまざまな取り組みを進めてきました。2022年4月には、1年間の進捗をまとめた「MUFG Progress Report」を発行するとともに、宮下CSuOと西山サステナブルビジネス部長が、投資家の質問に答えるセミナーを開催しました。参加者からは、「レポートは中間目標の設定やエンゲージメントの具体例がまとまっている。セミナーに参加してさらに理解が深まった」、「中途入社した西山部長の知見とMUFGの強みの相乗効果に期待している」などのコメントが寄せられました。



# 方針/ガイドライン

▼ 環境 (Environment)   ▼ 社会 (Social)   ▼ ガバナンス (Governance)

## 環境(Environment)

MUFG環境方針



MUFG環境・社会ポリシーフレームワーク



MUFG AM 責任投資ポリシー



## 社会(Social)

MUFG人権方針



MUFG環境・社会ポリシーフレームワーク



MUFG AM 責任投資ポリシー



MUFG人事プリンシプル



購買活動に関する考え方



英国現代奴隷法および豪州現代奴隷法への対応



クラスター弾への対応



個人情報保護方針



サイバーセキュリティ経営宣言



インクルージョン&ダイバーシティの考え方



## ガバナンス(Governance)

MUFGグループ行動規範



利益相反管理方針



反社会的勢力に対する基本方針



贈収賄防止への取り組み



MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針



MUFGコーポレートガバナンス方針



リスク管理基本方針



コンプライアンス基本方針



グローバル金融犯罪対策ポリシー



MUFGグループ情報開示方針



MUFG税務ポリシー

